

# シニアのためのパソコン＆スマートフォン（その155）

## 「BitLocker」（デバイスの暗号化）の“無効化”設定について

Windows11に搭載された「BitLocker」機能について、「パソコン＆スマートフォン（その144）」で紹介しましたが、パソコンを「電源」ボタンの長押しで“強制終了”させたり、パソコンの部品交換修理をした際に、「BitLocker」の回復キー入力を求める画面が表示されることがあります。

「BitLocker」機能の良し悪しは、パソコンの利用者によって異なるので、「パソコン＆スマートフォン（その144）」に記載のメリットとデメリットをご理解のうえ、「BitLocker」機能を“有効”にして使用するのであれば、「回復キー（数字48桁）」を調べて保存して下さい。

「BitLocker」は、パソコンの紛失や盗難に備えて、パソコン内のデータを暗号化することでセキュリティを強化する機能ですが、個人使用のパソコンで、盗難や紛失するリスクが低いと判断された場合、私見ですが「BitLocker」機能のメリットよりデメリットの方が多いので、「無効」にしておく方がよいと思います。



### 1. 「BitLocker」が「有効」／「無効」の確認

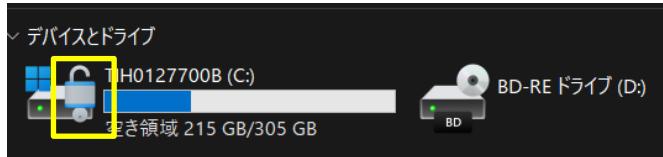
パソコン購入時に、“マイクロソフトアカウント”でログインして、「Microsoft Office」のインストールライセンス証を行いますが、それ以降「マイクロソフトアカウント」で“ログイン”していると、パソコンメーカーによって「BitLocker」機能が初期設定で「有効」になっていることがあります。

そのため、以下の手順で「BitLocker」機能の状態を確認してください。

#### ＜確認手順＞

- ① デスクトップに「PC」アイコンが有る場合、そのアイコンをダブルクリックする。  
デスクトップに「PC」アイコンが無いときは、「エクスプローラー」を起動して、画面の左側に表示されている[PC]をクリックする。
- ② 下図のような「デバイスとドライブ」画面が表示されたら、C:ドライブに“シリンダー錠”の形をしたマークが付いているか否かを確認する。  
鍵のマークが付いていると、「BitLocker」機能が「有効」になっており、付いていなければ「無効」を意味しています。

下図は、C:ドライブに鍵マークが付いているので「BitLocker」機能が「有効」になっている例です。



“シリンダー錠”のマークがついていなければ、「BitLocker」機能が「無効」になっています。

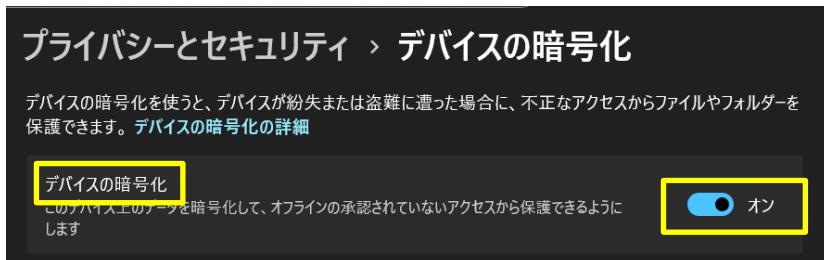
「パソコン＆スマートフォン（その144）」に、「BitLocker」機能のメリットとデメリットを記していますが、パソコンを個人で使用するので、パソコンが盗難にあったり紛失するリスクは低いと判断した場合、「BitLocker」機能を「無効」にしておいたほうが良いと思います。（私見）

### 2. 「BitLocker」機能を無効化する方法

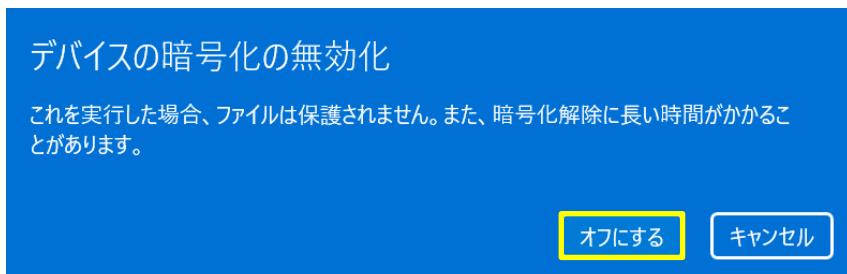
「パソコン＆スマートフォン（その144）」にも、「BitLocker」機能を無効化する方法を記しましたが、その後、手順が変更になっているようなので再掲します。

## <手順>

- ① 「スタート」⇒「設定」をクリックする。
- ② 「プライバシーとセキュリティ」を選択し、画面左側にある「プライバシーとセキュリティ」をクリックする。
- ③ 「デバイスの暗号化」を選択し、「セキュリティ」欄にある「デバイスの暗号化」をクリックする。
- ④ 「デバイスの暗号化」のスイッチを「オフ」に切り替える。



- ⑤ 暗号化を解除する下図の画面が表示されるので、「オフにする」をクリックする。



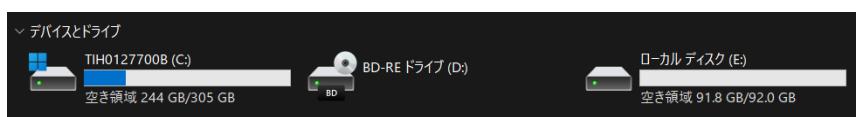
- ⑥ 下図の画面が開くので終わるまで待つ。



- ⑦ デバイスの無効化スイッチが「オフ」になったことを確認する。



- ⑧ PCを開き、C:ドライブに”シリンダー一錠”マークが消えていることを確認する。



以上  
田辺・西牟婁地区協議会 森田那華雄